

放っておけない心臓の血流トラブル

心臓は、血液を全身に送り出しているとても大切な臓器です。心臓自体を動かすための血液を送る心臓表面の血管を冠動脈といいます。この冠動脈がコレステロールなどで狭く細くなり、血流が阻害される病気が**狭心症**、完全に詰まって心臓への血流が途絶えてしまう病気が**心筋梗塞**です。

冠動脈の狭さ・細さ（狭窄）の状態を見るために行われるのが、**冠動脈CT検査**です。画像を撮影し、狭窄の程度を見て、治療すべきかどうかを判断します。

しかし、狭窄の程度によっては、CT画像のみでは治療が必要かどうかの判断が難しいケースがあります。この場合、患者さんに入院してもらい、“カテーテル”と呼ばれる細い管を血管に入れて、冠動脈の狭窄および血流を詳しく見る検査を行うのが、従来の方法でした。

！このような症状に要注意！



血管が狭くなる 狭心症

胸の圧迫感・重苦しさ
胸の痛み
冷や汗、吐き気・嘔吐、息苦しさ、動悸・めまいなど

※痛みが背中や肩、腕、首などに広がることもある
※運動時に症状が出ることが多い

血管が詰まる 心筋梗塞

強い胸の圧迫感・痛みが30分以上続く
冷や汗、吐き気・嘔吐
息苦しさ、動悸・めまいなど

※痛みが背中や肩、腕、首などに広がることもある

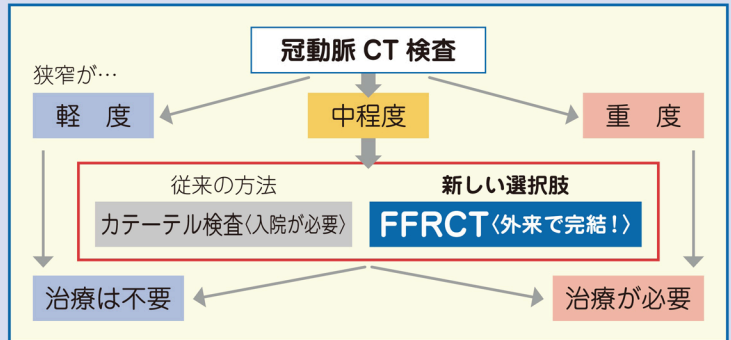
数時間以内に治療しないと命に関わることも

カテーテル検査をしなくても詳しく評価可能！ CT画像から血流を予測する FFRCT をご紹介します

FFRCTとは、**冠動脈CT画像から冠動脈の血液の通りやすさ（血流）を評価してくれる検査**です。

すでに撮影したCT画像を解析機関に送るだけで、スーパーコンピューターが、その冠動脈の狭窄を「治療すべきか？」評価します。

入院してのカテーテル検査をする必要がなく、患者さんに身体的な負担が一切ないのが大きな特徴です。

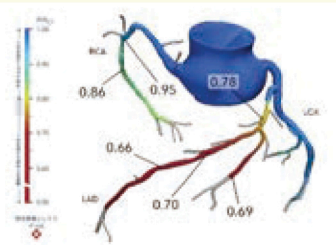


－ FFRCTって何がいの？ 3つのメリット－

- 1 入院する必要がない**
検査が外来でのCT撮影だけで完結します追加の身体的・時間的負担がありません
- 2 身体への負担がない**
カテーテルの挿入が不要なため身体にやさしい検査です
- 3 わかりやすい結果で病識が深まる**
カラーレポートでどこが問題なのかがわかりやすく表示されます

解析の流れ

- 冠動脈CT画像を解析機関に送信
- スーパーコンピューターが血流を解析
- 数日でレポートが完成
⇒冠動脈の血流が数値と色でわかりやすく可視化されます



〈レポートの一部：予測される血流〉
赤い部分で血流が妨げられています

？よくあるご質問？

- Q1.** 保険は適用されますか？
A1. 保険適用ですのでご安心ください。
費用は診察時にご案内します。
*冠動脈CT検査費用は別途がかかります
- Q2.** 誰でも受けられますか？
A2. 症状やCT画像の状態によって難しい場合があります。
医師が適応かどうかを適切に判断します。

ご不明な点は循環器内科の医師にご相談ください